

2021 年度 事業報告

本報告は、公益財団法人天田財団の 2021 年度(令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで)における事業報告を行うものです。

本年度の事業内容としては、前年度と同様に、金属等の加工に係る優れた基礎技術の研究活動への助成を通じて学術及び科学技術の振興を促し、併せてその成果の普及啓発活動を行いました。また、金属等の加工に従事する者の技能と地位の向上に有益な資格の取得に対する助成を行い、勤労意欲のある者に対する就労の支援を図りました。これらの事業により、わが国の産業及び経済の健全な発展に寄与する事を目的に事業を推進してまいりました。

本年度は研究開発助成については例年どおりの応募件数がありましたが、コロナ禍により国際交流助成は昨年同様、応募件数が大きく落ち込みました。技能検定受検手数料助成も、一部の県で実技試験が中止になるなどの影響がありました。

以下に実施した事業内容をご報告いたします。

1. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する調査・研究に係る助成事業

1) 研究開発助成

国内の大学・大学院・高専、及び国公立並びにこれに準ずる研究機関で行われる研究開発のうち、当財団の対象とする各技術に関する研究開発及び調査を行う研究者からの応募に対し、選考委員会にて公平且つ厳正な選考の結果、当財団の選考基準にふさわしい助成テーマ 56 件に助成金額 1 億 8,166.5 万円を交付いたしました。

2) 奨励研究助成(若手研究者育成)

国内の大学・大学院・高専、及び国公立並びにこれに準ずる研究機関で行われる研究開発のうち、当財団の対象とする各技術に関する研究開発及び調査を行う若手研究者(令和 4 年 3 月 31 日時点で 39 歳以下)からの応募に対し、選考委員会にて公平且つ厳正な選考の結果、優秀な若手研究者を育成するため、助成テーマ 25 件に助成金額

4,964.5 万円を交付いたしました。

2. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する研究に係る国際交流の促進及びその助成事業

1) 国際会議等開催準備及び開催助成

国内の大学・大学院・高専、及び国公立並びにこれに準ずる研究機関で行われる研究開発のうち、当財団の対象とする各技術に関する国際会議、国際的な研究集会等の開催準備について関連機関代表者からの申請のうち、前期・後期合計で助成件数 3 件に助成金額 200 万円を交付いたしました。

海外にて実績がある国際会議で、国内で初めて開催される会議に対する準備・開催に対する助成については、本年度は応募が無く、助成実績はありません。

2) 国際会議等参加助成

国際会議等参加助成は、コロナ禍の影響により、昨年同様、応募件数が大きく落ち込みました。

国内の大学・大学院・高専、及び国公立並びにこれに準ずる研究機関に所属する研究者のうち、当財団の対象とする各技術に関する国際会議、国際的な研究集会等へ参加する研究者個人からの申請は助成件数 2 件、助成金額 110 万円を交付いたしました。

若手研究者枠については応募が無く、助成実績はありません。

3) 国際シンポジウム準備及び開催助成(若手研究者枠)

国内の大学・大学院・高専、及び国公立並びにこれに準ずる研究機関に所属する若手研究者(令和 4 年 3 月 31 日時点で 39 歳以下)自らが主催者となり、3 か国以上の研究者を招聘して開催する助成分野に関するシンポジウム等については、本年度も応募がありませんでした。

3. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する研究等成果の普及啓発事業

1) 研究成果報告書等の配布による普及啓発事業

2021 年度に報告された研究開発助成事業並びに国際交流促進助成事業の成果を「天田財団助成研究成果報告書 2021」としてまとめ、それに昭和 62 年から最新年度までの研究成果報告書を収録した、キーワード・研究者等の検索機能付きの DVD を付けて、国内研究機関・産業界等へ 1,500 部発刊し、配布いたしました。

また、機関誌「Form Tech Review」では毎年度特集テーマを設定し、過去の研究成果報告の中から特集テーマに相応しくかつ技術の向上と発展に効果が大きいと判断される研究成果を選考して、その研究者に改めて執筆いただいた論文を掲載して発刊・配布しておりますが、コロナ禍のために昨年度は発刊を取りやめたため、2019 年度版を継続して配布いたしました。2021 年度版は次年度 4 月より 2,200 部発刊・配布する予定であり、編集を完了しています。

2) 研究成果発表会開催による研究成果の普及啓発事業

① 第 4 回レーザープロセッシング助成研究成果発表会

コロナ禍による OPIE'20 の開催中止を受けて昨年度は中止しました助成研究成果発表会を、レーザー学会主催の OPIE'21 の公式併設イベントとして、会場参加とオンライン参加のハイブリッド方式で 6 月 30 日にパシフィコ横浜で開催しました。研究者や企業開発者など、会場参加が約 50 名、オンライン参加が約 80 名でした。

② 第 18 回天田財団塑性加工助成研究成果発表会

昨年度はコロナ禍による日本塑性加工学会春季講演会の開催中止を受けて中止いたしました助成研究成果発表会を、塑性加工連合講演会の特別併催行事として 10 月 29 日～30 日にオンデマンド配信方式で開催しました。100 名を越える視聴者登録がありました。

3) 公共展を活用した研究成果の普及啓発事業

レーザープロセッシングに関連した公共展に参加して、企業の開発者等に向けて助成研究成果報告書等を配布する普及啓発事業を行いました

① OPIE'21: 6 月 30 日～7 月 2 日

② Photonix2021: 12 月 08 日～10 日

なお、参加を予定していた LaserSolution2022 (1 月 12 日～14 日)はオンラインで

の開催に変更されたため、出展を取りやめました。

4) 2021 年度天田財団助成式典開催による普及啓発事業

2021 年前期に採択された助成者に対する「助成金目録贈呈式」を次第とした「2021 年度天田財団助成式典」を 11 月 27 日に日比谷図書文化館日比谷コンベンションホールで開催し、助成者 64 名を含む 120 名に参加いただきました。

5) 天田財団ニュースの発刊による普及啓発事業

「天田財団ニュース」は、助成した研究者の研究室紹介や財団の活動の近況を記事として掲載しています。年 2 回「天田財団ニュース」を合計 3,500 部発刊し、関係する研究者や公共展等で広く配布いたしました。

4. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に従事する者の技能と地位の向上を目的とした資格の取得に対する助成事業

厚生労働省所管の国家検定資格である「技能検定」の「工場板金」に係る受検手数料を助成することで「技能士」資格取得を支援するものです。2019 年度後期検定試験より助成を開始しました。

2021 年度は前期、後期あわせて 104 団体 248 名、個人 1 名に対し、総額 525.1 万円の助成を行いました。

5. その他

2021 年度事業活動の状況の詳細は、「2021 年度事業報告 附属明細書」のとおりであります。